

問題【国語】

次の言葉の■の中に漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

- (1) 危機一■
- (2) 一■懸命
- (3) ■言実行

豆知識 雑学コラム

四字熟語、もじると…

今回は四字熟語がテーマです。まず、最初は「危機一『髪』」ですね。髪の毛一本ほどのわずかな違いで、危険になるかどうかの、きわめて危ない状態のことですね。髪の毛一本ほどのわずかな違いなので「いっぱつ」は「一髪」と書きます。しかし、おもちゃの「黒ひげ危機一発」のように「ものが発射させるような危機的な状況」ということで「いっぱつ」をもじって、「一発」と書く場合も見られます。「危機一発」は洒落がかかっている面白い言い方ですが、正しい四字熟語ではないため、国語の勉強をするときには厄介な言葉ですね。このように、四字熟語をもじった言葉がいくつか見られます。そして、「危機一発」とは違い、四字熟語として定着したものもあります。今日はそんな言葉を見ていきましょう。

一つ目は、「一所懸命」をもじった「一生懸命」です。もともとの「一所懸命」は鎌倉時代の武士が与えられた土地（所領）を、命懸けで守ることから言葉が生まれた言葉です。この言葉が時代を経ることで「土地を命懸けで守る」から「様々なことを全力で頑張る」と広く使われるようになってきました。その結果、「土地」を表す「一所」の意味が薄れ、「命」を表す「一生」と混同されていったと考えられています。「一生懸命」は現在では、誤用とはみなされず、新聞などでもみられる正しい日本語として定着しています。

二つ目は、「不言実行」をもじってできた「有言実行」です。「不言実行」とは「あれこれ言わずに黙って物事を実行すること」ですね。一方で「有言実行」は「口に出して言ったことを全て成し遂げること」です。昔の人は、黙ってするべきことをする人がかっこいいと考えていました。そのため、「不言実行」という言葉ができました。一方、現在では、スポーツ選手などが宣言したことを実行して成し遂げることをかっこいいと思う場面も多くあります。こうした価値観の変化によって「有言実行」も四字熟語として定着してきていると思います。

さて、高校入試まであとわずかです。「不言実行」でも「有言実行」でも、「一所懸命（一生懸命）」に取り組んでやり遂げることが大切ですね。

【解答】 身 一 (1)

命 一 (2)

言 一 (3)